



La 99-a Japano Esperanto-Kongreso
en Sapporo

La 6-a, 7-a, 8-a de oktobro 2012

第 99 回

日本エスペラント大会

(札幌市)

La 3a



日 時: 2012 年10月6日(土), 7日(日), 8日(月・体育の日)

会 場: 北海道立道民活動センター かでる2・7

(〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 TEL:011-204-5100)

主 催:(一財)日本エスペラント協会, 北海道エスペラント連盟, 札幌エスペラント会

後 援: 独立行政法人国際交流基金, 社団法人日本ユネスコ協会連盟, 社団法人
日本ペンクラブ, 北海道教育委員会, TVhテレビ北海道, (以上、申請中),
北海道, 札幌市, 札幌市教育委員会, 北海道新聞社, 朝日新聞北海道支社, 毎日新聞社,
読売新聞北海道支社, NHK 札幌放送局, HBC 北海道放送, STV 札幌テレビ放送,
HTB 北海道テレビ, UHB 北海道文化放送, AIR-G'エフエム北海道,



「シロカニペ ランラン ピシカン コンカニペ ランラン ピシカン」

これは知里幸恵さんのアイヌ神謡集の出だしだ。序文もまた美しく気品のある文体でアイヌモシリ(人間の静かな大地)北海道を語る。1989 年, 北海道エスペラント連盟はエスペラント訳して出版した。文頭の詩は「シマフクロウ神が自らをうたった謡」という大叙事詩だ。

[エスペラント発表125周年]

今大会のエンブレムは「大空を飛ぶシマフクロウ」をデザインしている。学名 ketupa blakistoni のとおりブラキストン線(津軽海峡線)の北側, 北海道にだけ住む。1900 年ごろには1000 羽以上が生息していたが70 年で70 羽に激減, 現在は140 羽にまで回復した。強力な爪とくちばしを持つ縄張り意識の強い肉食鳥で, ねぐらに近づくものは区別なく敵に回す。1989 年からの放鳥事業でも3 例のつがいしか確認されていない。世界に198 種あるフクロウだが, 夜行性で羽音を立てない野生のシマフクロウを見た人は極めて少ない。

先住民アイヌはシマフクロウをコタンコル・カムイ(村を守る神)のほか多くの呼び方をしている。泣き声はペウレブ・チコイキ(熊を獲りに来い)と聞こえるそうだ。「寓意画集(emblemata)」(1531 年アンドレーア・アルチャート)にはフクロウをあしらったエンブレムがすでに数多く載っている。知恵の象徴, 堅忍の象徴など。今は大学, 団体, 企業など目白押し。絶滅に瀕しているシマフクロウ保護には良いことかもしれない。

1988 年第75回大会以来, 24 年ぶりの札幌市開催です。秋の北海道の紅葉の中, 大いに語り合しましょう。みなさまの参加を心よりお待ちしております。

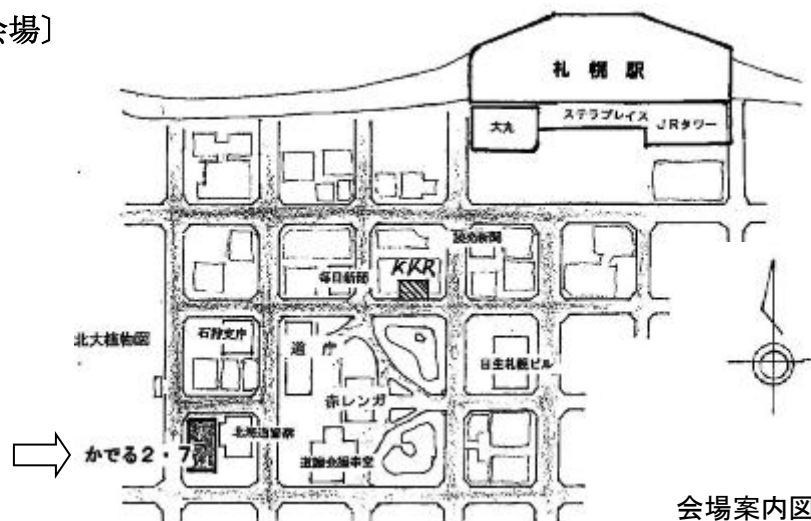
主なプログラム（予定， 地元番組, JEI 担当番組より）

日 時	番 組
10 月 6 日(土)	次行の*印 2 件は午後の時間帯(調整中)を使います
13:00~14:20	Pasporta Servo, 試験-14:40, /*E 入門 (公開), E 会懇談会
14:30~15:55	八ヶ岳 E 館, UEA-delegitoj, 新テスト(15-16)ほか
17:00~18:30	Amika Vespero
10 月 7 日(日)	
09:30~10:35	開会式, アイヌ舞踊
10:45~12:05	アイヌ語, 初心者番組, J E I 会員総会
12:55~14:20	講演「近代北海道のなかのアイヌ語」, アジア分科会ほか
14:30~15:55	北海道の E 運動, 小坂賞記念講演・研究発表会ほか
18:30~21:00	Bankedo
10 月 8 日(月)	
09:00~10:25	えりもの森, ほか
10:35~11:55	極東ロシアの自然保護 (E) (検討中), ほか v. 2
13:00~14:30	公開講演「人と自然の共存の歴史」
14:45~15:30	閉会式

〔大会テーマ〕 「緑のことばで緑を語ろう」

緑のアイヌモシリ（人間の静かな大地）でエスペ란チスト同士, 互いに心を通じ合わせようではありませんか. 皆様のご参加をお待ちします. イランカラプテ (Saluton!) (故萱野茂氏によると, i- それ(あなた)の ram- 心 karap- 触れる -teさせる となります)

〔大会会場〕



札幌駅から北海道庁の構内を
通って，北大植物園に突
き当たった左側です。

会場案内図

連絡先: 日本エスペラント大会事務局

〒162-0042 東京都新宿区早稲田 12-3 一般財団法人日本エスペラント協会内

メール: jek12h@jei.or.jp FAX: 050-3737-6438 (第99回大会専用)

電話: 03-3203-4581 お問い合わせはなるべくメールでお願いします。

ホームページ: http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jek99/2012-10_jek99_sapporo.html

参加申込みは(同封の)郵便振替 00100-4-400372 (日本エスペラント大会) へ。
振り替え到着後2週間をめどに領収書(はがき)をお送りします。

〔大会記念品〕 Bildlibro : "Reviviðu, la arbaro de Erimo!"

絵本 「よみがえれ えりもの森」

原作は日本児童文学者協会会員の本木洋子さん。「やんばるの森がざわめく」など多くの作品があります。絵は北海道美唄出身の高田三郎さんでやんばるの森も高田さんの絵です

大会参加費など

(単位は円)

参加費	7月末まで	8月1日以降	記念品・報告書・備考	参加費		8月末までに	備考
				⑩	記念写真		
① 一般	6,000	7,000	あり	⑪	懇親会	6,500	菜食希望は明示を /予定
② 障害者	3,000		あり	⑫	昼食	950	
③ 家族	3,000	4,000	なし, 記念品希望は①	⑬	昼食	950	
④ 青年	3,000	4,000	あり, (1986年1月生以降)	⑭	観光	15,000	1級: 5,000 2級: 3,000 3級: 2,000 4級: 1,000
⑤ 中学・高校生	1,500	2,000	あり(単独参加の場合)	⑮	JEI 学力 検定試験		
⑥ 小学生以下	700	1,000	なし				
⑦ 留学生	3,000	4,000	あり, (外国籍, 日本留学)				
⑧ 外国から	2,000						
⑨ 不在参加	3,000			⑯	JEI新テスト	500	

取り消しの条件 1) ①ー⑨の参加費は原則としてお返しできません。

2) ⑩ー⑯の費用は、9月末までに限り、返金手数料500円を控除して返金します

〔宿泊斡旋〕 札幌市内には各種の宿泊施設があります。各自で予約・支払いをお願い致します。

リストは、<http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jek99/hotelo.htm> をご覧下さい。

お問合せは、メール:hokkaido_esp_ligo@yahoo.co.jp へ。

〔大会前観光(土曜日)〕 * 散策コース * バスコース * 地下鉄コース (一日乗車券が便利)

* 散歩がてらの観光なら、徒歩20分以内で札幌時計台をはじめ、旧永山武四郎邸、開拓使ビートル館、大通公園、北海道庁赤レンガ館、札幌資料館、北大植物園、北大博物館などがあります。

* バスでは、JRが15分おきにレトロバスを運行しています。見所は大倉山シャンツェ、円山公園、札幌ウィンタースポーツミュージアム、道立近代美術館、がお勧めです。

* 地下鉄沿線も、多くの博物館、美術館、文化施設、公園、遺跡、遺構を楽しめます。

〔大会後観光(月曜日～火曜日)〕 * 洞爺湖・有珠山の脅威をみる

2003年3月31日に大爆発した有珠山は、規模と時間を正確に予知した世界初の事例で、予知により一人の犠牲者も出ませんでした。有珠山は巨大海底噴火口の内浦湾とカルデラ湖の洞爺との間に位置し、寛文3年から8回も爆発を繰り返してきましたが、周りを森に囲まれた美しい湖のある温暖な地です。温泉が湧き出したのは1910年、今から百年のど前のこと。有珠山は、大有珠山732m・オガリ山・有珠新山・小有珠からなるが爆発は西側裾野の金毘羅山、西山周辺で起きました。

帰路、サケの遡上するサケのふるさと館、千歳空港(16時頃)を経由して札幌駅に戻る計画です。

北海道の秋の見所は紅葉です。広大な大地に、真っ赤に染まった山々を充分ご堪能ください。

La 99-a Japana Esperanto-Kongreso en Sapporo

Dato: la 6-a, 7-a, 8-a de oktobro 2012

Kongresejo: Kaderu 2·7 (Centro por Hokkajdana Aktivado)

12 minutojn piede de la stacidomo Sapporo

Kongresa Temo: *Ni interparolu pri verda naturo en verda lingvo!*

Ĉefaj programeroj (provizoraj)

La 6-an de oktobro (sabate)

Antaŭtagmeze: Ekskursoj perpieda, aŭtobusa kaj metroa

Posttagmeze: Fakkunsido, Elementa kurso publika por civitanoj (senpaga)

Vespere: Amika vespero (prezentantoj atendataj)

La 7-a de oktobro (dimanĉe)

Antaŭtagmeze: Inaŭguro, Aina danco

Posttagmeze: Prelego, Fakkunsidoj

Vespere: Komuna bankedo

La 8-an de oktobro (lunde)

Antaŭtagmeze: Fakkunsidoj, Prelegoj

Posttagmeze: Prelego (japane, resumo:esperante), Solena fermo

Post la kongreso: Ekskurso al la vulkano USU kaj la lago TOYA (elp. tooja)



Memoraĵo: Bildlibro "Reviviĝu, la arbaro de ERIMO"

La arbaroj nutras la maron, kaj la maro riĉigas marriĉaĵojn.

Verkita de MOTOKI Jooko, pentrita de TAKADA Saburoo, traduko de HEL

Kotizoj: Eksterlandano venonta el ekster Japanio 2 000 enoj

Loĝanto plenaĝula en Japanio

6 000 enoj (ĝis la 31a de julio 2012)

7 000 enoj (post la 31a de julio 2012)

Pri ceteraj kotizoj (handikapulo, junulo, lernanto, alilanda studanto, morala partopreno, ktp) demandu al Konstanta Kongresa Sekretario (vidu informon malsupran piednotan).

Loĝado: rete al hokkaido_esp_ligo@yahoo.co.jp / Listo de hoteloj prezentota

Ekskurso (la 6-an de oktobro, sabate) : senpage nur per trafik-kostoj

Postkongreso (la 8-an kaj 9-an de oktobro, lunde kaj marde) : 15 000 enoj (provizora)

Foto: 1 000 enoj

Lunĉo: la 7-an kaj 8-an de oktobro, 950 enoj potage



Pri plidetalaj informoj havu kontakton kun Konstanta Kongresa Sekretario INUMARU, ĉe Japana Esperanto-instituto/ JP-162-0042 Tôkyô-to Sinzyuku-ku Waseda-mati 12-3

retadreso: jek12h@jei.or.jp, telefono: +81-3-3203-4581, fakso: +81-50-3737-6438, retejo: http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jek99/2012-10_jek99_sapporo.html